

体カアップをめざして!

生活の中で子どもの体カづくり! -子どもの体カアップ推進事業-

楽しみながら運動機能の発達に役立つ遊びや基礎体カづくりを行うため、市内の9保育所とのびのび園に遊具を購入し、専門の講師による運動遊び指導を実施しています。



桜保育所での運動遊びの様子

導入した経緯

愛知県は全国の中でも小学生の体カ、運動能力が低い傾向にあるため、小さい子どものうちから運動能力の向上を目指して、平成27年度に導入しました。

いろいろな運動遊び



逆上がり練習用鉄棒



逆上がりができるように!

逆上がりは後方へ転倒した場合の受身や、肩や肘などの力入れ方など様々な運動の基礎になります。



パンチングボール



ボール投げのコツをつかむ!

瞬発力も育ち、また体中の筋肉を上手く使えるようになります。



ふかふかマット



危険防止のマットとしてだけでなく...

マットの上を走ることで膝を上げて走れるようになり、体幹が鍛えられます。

導入後

積極的に運動する子どもたちが増え、体カや運動能力が向上し、体のバランスがとれ、視野が広がったことにより、怪我が減りました。

また、いろいろなことができるようになることで、自信が芽生え、様々なことにチャレンジするようになったことや、チャレンジしている子を積極的に応援するなど、人間性の向上にもつながりました。



特集 安心して子育てができるまち“やとみ”

市では人口減少を喫緊の課題ととらえ、将来にわたり活力ある社会の維持に取り組んでいくため、平成28年2月に『弥富市人口ビジョン』および『弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定しました。

この総合戦略において、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ことを基本目標のひとつに掲げており、「子育て支援の充実」に努めています。

特に保育所においては、より安全に、より健やかに子育てができるように各種事業に取り組んでいます。

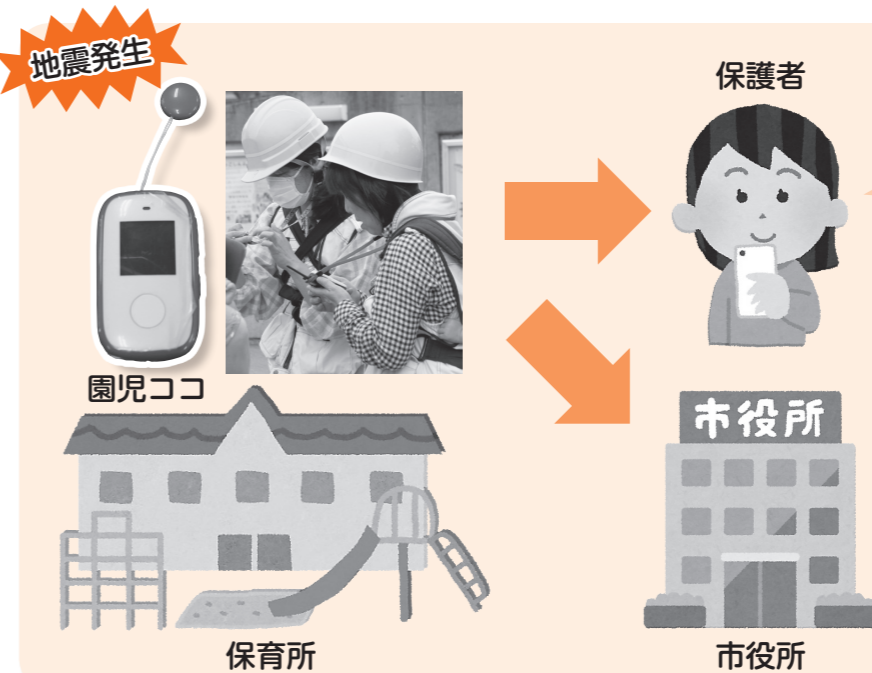
その一環として、各保育所で取り組んでいる事業を紹介します。
※今回紹介する事業は、国の「地方創生先行型交付金」を活用し、導入したものです。

取り組み1

いざというときのために!

災害時の不安を大きく解消! -災害時避難情報システム整備事業-

市内の9保育所に通う子どもたちの避難場所をいち早く知らせるシステム『園児ココ』を平成27年度に導入しました。



園児ココとは...

ヒモを引くだけで保護者の皆さんに子どもたちの避難場所を迅速にメールで地図と一緒に知らせるシステムです。また、避難完了時には、市役所児童課と連絡を取り、市役所との連携を図ります。

導入した経緯

市内の各保育所では東日本大震災をきっかけに、「たくさんの子どもの命を守らなければいけない」という保育士の思いから、毎月行う防災訓練での話し合いや「保育だより」を通し、“～大丈夫、防災・安全～”というテーマで、保護者や若い保育士に向けて啓発していく中で、災害時において迅速に情報共有ができる『園児ココ』が導入されることになりました。

活用状況

導入後は『園児ココ』を用いた災害発生時の迅速な避難および保護者への連絡ができるように、日頃から保育所と保護者一体となった実践訓練が行えるようになりました。

また、『園児ココ』導入や「保育だより」をきっかけに保護者の防災に対する意識も変化してきています。

※『園児ココ』に現在は85%の保護者が登録しています。100%の登録を目指していますので、未登録の保護者は登録をお願いします。



避難訓練を行うひので保育所